



東海大学大学院 2022年度 家族看護研究会

家族看護学研究室では家族看護を
様々な理論やツールを用いて分析しています。
今回は渡辺式家族アセスメントモデルを
用いて分析していきます。



事例紹介

悪性リンパ腫造血幹細胞移植後の20歳代男性。脳GVHDにより意思表示が明確ではない。患者の今後の療養先について、両親はリハビリ病院を希望したが適応外。医療者は自宅退院を目指している。両親と医療者主導で療養先を決定しており、患者不在の状況に看護師は困惑している。



プロフィール：櫻井大輔先生（家族支援専門看護師）
国際医療福祉大学卒業後、神奈川県立足柄上病院に入職
東海大学大学院で家族看護学を専攻し、家族支援専門看護師
を取得。2018年から東海大学医学部看護学科助教となり、
各地で家族看護教育の普及に努めている。

【日付】 2022年5月28日 土曜日

【時間】 13：00～16：00

【会場】 zoomによるオンライン開催



参加ご希望の方は右上QRコードよりお申し込みください

問合せ先：0463-93-1121（代表） 家族看護学研究室 担当:井上
ホームページ：<http://kazokuns.ih.s.u-tokai.ac.jp>
メールアドレス：rinoue@is.icc.u-tokai.ac.jp